

## 「リーダーの条件」

時代が迷走しながら、益々速いスピードで、そして世界規模で動いています。

最近我々の目の前で起こる様々な現象は、従来の常識や予想を裏切る結末となる事が多くなっている様にも思います。

大きいところでは、アメリカ大統領選しかり、英国のEU離脱しかり、また近いところでは都議選の結果しかり、さまざまな予想外の現象が起こっています。

しかし、こうした現象の背景には、人々に将来の方向性を明確に指し示し、それを短期的、中長期的に遂行してゆける強いリーダーがいない為、人々の不安や不満が増幅され、想定外の流れが出来ている気がしてなりません。

今から30年程前、自分の行動指針として「リーダーの条件」を書きました。

リーダーはどうあるべきかを、自分なりに考えて書いたものです。

### <リーダーの条件>

1. 方向性を明確に示している事
2. 他人の事を自分の事と同じ様に思える事
3. 言い訳をしない事
4. 人間は不完全なものと納得している事
5. エンロールのスキルを常に磨いている事
6. 権限を委譲し自らが責任をとる覚悟が出来ている事
7. 決意した事をやり続ける根気強さを持っている事
8. 本気で人を育てる勇氣を持っている事
9. 感謝の気持ちを素直に表現できる事
10. 常に挑戦し続けている事

もちろん私自身、この10の項目全てを実践出来ている訳ではありませんが、この中で特に重要なリーダーの条件は、方向性を明確にし、決断、実行し、結果を出す事だと思っています。

近年、指導的立場の人で、耳障りの良い話をする人は多くいますが、方向性を明確に出来ず、その場しのぎで大衆迎合的な話をする人が多い気がしてなりません。

「才」という字があります。名詞では、「働き、能力」という意味ですが、副詞だと「わずか」という意味になるそうです。

本質的には、余り重要でない能力という事かもしれません。

近年、本当のリーダーが少なくなっている背景の一つが、「才」を競う事ばかりが横行し、人間の器を磨く「徳性」や、新しいものを生み出す「創造性」を重要視してこなかった弊害ではないかと思っております。

真の指導者は、私心が無く、自己の利害、欲望によって汚されていない良心を持って決断してゆく事ができなければならないと思います。

また最近、官が民を規制や法でしぼる事も増えてきている様に思います。

「才」で物事を考える人達は、上から目線で、画一的に物事を決めたる傾向が有る様に思います。

こうした事も、リーダーが育ちにくい環境となってきたのかもかもしれません。

人に大切なものは、知識や才能よりも、真剣に物事に取り組む「情熱」であり、それは自発的に湧き出してくる自然な内なる気持ちであり、それは他人がとやかく口出ししたり、制約するものではないと思います。

将来、本物のリーダーがもっと育ってくる為には、個性や自主性を伸ばし、本当に努力したい人が伸び伸びと努力し、その努力をした人が報われる社会を創る事が、真のリーダーが育つ社会へとつながる様に思います。

情報過多な社会で、物事を正しく判断する力を持ちたいものです。

徳真会グループ  
代表 松村 博史



日輪

— ハワイ島 すばる天文台にて —  
(撮影：松村 博史 / 2017年7月28日)



撮影場所：熊本県阿蘇市